

最近の川崎市政の状況をご報告申し上げます。

## 2008年9月議会閉会

### 一般会計補正予算等可決

川崎市議会第4回定例議会が9月4日(木)に開会し、10月7日(火)に閉会した。議案37件、報告5件が市議会に提案された。今回の議会において、2008年度一般会計補正予算案約16億2百万円が可決された。特に、保育所待機児童対策として、受け入れ枠を現在よりも150人拡大する施策については、早期の整備が求められている。更に、来年4月に小規模認可保育所2箇所、認可外の保育室を一箇所開設する予定となっている。

また、9月定例議会中に開催された決算審査特別委員会において、私は下記の点について質問を行った。

- ① 市バスの事故状況について
- ② 市営住宅の滞納問題について
- ③ 川崎市ゴルフ事業特別会計について

尚、議事録等については、川崎市ホームページにてご覧頂ければ幸いです。(本会議、委員会の議事録等については、一定期間経過後、川崎市のホームページに掲載されることとなっている。)

## 神奈川口構想について

### 羽田連絡道路の川崎側の土地利用案を提示予定

Q: 神奈川口構想の進捗状況について伺う。

A: 羽田再拡張事業の進捗状況に合わせ、羽田空港の機能強化、神奈川口構想における川崎側の土地利用については、京浜臨海部や神奈川県経済の活性化につなげることを目的として、国土交通大臣、神奈川県知事、横浜市長及び川崎市長で構成する、神奈川口構想に関する協議会が設置された。協議会設置以降、羽田連絡道路計画などについて、関係自治体と協議を適宜行ってきた。近いうちに、羽田連絡道路の川崎側の土地利用の案を示す予定である。今後も引き続き、神奈川口構想実現に向け取り組んでいく。

## 出張所などを再編整備

### 10月下旬に市民意見を聴取

先般、川崎市は、区役所、出張所、行政サービスコーナーを再編することを明らかにした。また、各区役所の市税部門を専門組織化し、市内に4箇所の税事務所(仮称)を設置する予定としている。現在、再編の考えをまとめた素案を公表し、10月下旬に市民からの意見聴取を行う。その後、2008年度中に実施方針を策定する。川崎市民にとって利便性が向上する仕組みの構築に努めて参りたい。

## 川崎市 滞納債権目/3年間で3割減

川崎市は、8月7日までに2007年度決算見込みで約190億円に上る滞納債権について、今後3年間で3割に当たる57億円を削減する目標を設定した。

主な滞納債権は、国民健康保険(国保)料の約145億円であり、今後3年間で45億5千万円を削減する。この他、介護保険料で1億6千万円、保育所運営負担金で7千万円、住宅使用料で2億7千万円の削減額を目指す、としている。

市は、2008年度から財政局滞納債権対策室を設置し、対策を強化した。具体的には、民間への委託事業として、滞納の初期段階において滞納者に電話で呼びかける「コールセンター」の設置や、居所不明者を追跡調査し、収納を行ってもらう「債権回収事業」などを実施することを視野に入れている。コンビニエンスストアでの収納も従来の国保料に加え、住宅使用料、介護保険料の払い込みが出来るように拡大する。この他、既に取り組みを始めている強制執行や、法的措置なども適宜実施する。

収納率を他都市と比較してみると、川崎市の2006年度の収納率は、国保料が68.2%と政令市平均73.4%を下回っている。滞納債権対策室は「残念だが平均を下回っている現状をしっかりと認識し、収納率を上げ、目標を達成したい」と話している。

今後の取り組みを注視していく。

## 富山市 ライトレールを視察

先般、民主党川崎市議会議員団 まちづくり委員有志で富山市のライトレールを視察した。環境に配慮した最新の技術も導入され、富山市民の足として広く活用されている。



富山市 ライトレールに於いて

左側 山田議員 右側 青山議員

市政についてご意見、ご要望等お気軽にご連絡下さい。

青山圭一連絡所 電話 044-935-3597

FAX 044-935-3529